

教 授 要 目

付 研究指導要項

昭和42年度



小樽商科大学

小樽商科大学教授要目

目 次

I 授業科目履修方法	1
1 昭和42年度開講科目	1
2 履修方法	5
II 教授要目	13
1 一般教育科目	13
2 外国語科目	18
3 保健体育科目	23
4 基礎教育科目	25
5 専門教育科目	27
6 教職科目	45
III 研究指導要項	48

文部省
京都千代田区霞ヶ関三ノ二ノ二

I 授業科目履修方法

1. 昭和42年度の開講科目は次のとおりである。

区分	授業科目	単位	年度	担当教官	備考	
一般 教育 科目	人文学	4	II	川村教授	北海道大学文学部教授 (前期)	
	心理学	4	I	梅岡講師		
	日本文学	4	I	細谷助教授		
	外国(英)文学	4	I・II	飛田助教授		
	外国(仏)文学	4	II・III	松尾教授		
	外国(露)文学	4	II・III	松本助教授		
	歴史学	4	II	阿部助教授		
	社会科学	社会学	4	II	笹森講師	北海道大学文学部助教授 東京教育大学文学部 助教授
		※社会思想史	4	I	浜林講師	
		法(日本国憲法) 学(2単位を含む)	4	I	中川助教授	
自然科学	物理学	4	I	原田講師		
	化学	4	I	斎藤教授		
外国語 科目	英語 {I} {II}	4 6	I II	(備考参照)	北海道大学文学部講師 外国人講師 北海道大学文学部講師 北海道大学文学部講師	
	独語 {I} {II}	8	{I} {II}	{中川助教授 {菅原講師 {ミユラー講師		
	仏語 {I} {II}	8	{I} {II}	松尾教授		
	仏語(I)特	4		{中山講師 {白井講師		
	中国語 {I} {II}	8	{I} {II}	川上教授		
	露語 {I} {II}	8	{I} {II}	松本助教授		
保健 体育 科目	実技	2	I	{杉山助教授 {藤江講師 {中川講師	非常勤講師 (前期) 小樽協会病院内科医長	
	講義	2	II	{杉山助教授 {常見講師		

基礎教育目	経済学概論	4	I	麻田教授	
	商学概論	4	I	竹内教授	
	管理科学概論	4	I	岡本教授	
	数学	4	I	古瀬教授 武隈教授	
専門科目	統計学	4	II	竹内教授	
	経済原論	4	II	藤井教授	(後期)
	経済変動論	4	IV	長谷部講師	北大経済学部助教授
	経済学特殊問題	4	II	降旗講師	(前期) 北海道大学経済学部助教授
	経済史概論	4	II	未定	(後期)
	財政学	4	III	早見助教授	
	国際経済論	4	III	麻田教授	
	※国際金融論	2	III・IV	島本講師	北海道銀行取締役会長
	金融経済論	4	III・IV	未定	(後期)
	配給論	4	III	岡本教授	
	商業英語	4	III	木曾講師	小樽女子短期大学長
	※保険論	4	IV	久木講師	専修大学商学部教授
	証券市場論	4	III	石原助教授	(後期)
	証券金融論	4	III・IV	鈴木助教授	
	経営経済学	4	II	伊藤教授	
	簿記学	4	II	久野助教授	
	商業数学	4	III・IV	藤田講師	小樽商大短大助教授
	会計学	4	III	武隈教授	
	管理科学(生産I)	2	III	石河教授	
	管理科学(経済I)	2	III	古瀬教授	(後期)
応用数学(代数I)	4	II	西川助教授	(後期)	
応用数学(代数II)	2	III	沼田助教授		
応用数学(解析I)	4	II	同上	(前期)	
応用数学(解析II)	2	III	穂鷹助教授		
応用数学(統計I)	5	III	同上	(前期)	
応用数学(統計II)	5	III	同上	(前期)	
計算機プログラム	4	II	神田助教授	(前期)	
数値計算	4	III	同上	(後期)	
				戸島助教授	
				同上	

	民法 I	4	II	相原講師	小樽商大短大教授	
	民法 II	4	III・IV	中川助教授		
	商法 I	4	III	実方学長		
	商法 II	4	III・IV	斎藤講師		
	国際法	4	IV	桑原教授		
	※経済法	2	III・IV	未定		
	研究指導	12	III・IV	専門科目担当教官		
経済の学び	日本経済史	4	III	安孫子助教授		
	農業経済学	4	III・IV	崎浦講師	北海道大学農学部教授	
	社会政策	4	IV	吉武教授		
商科の学び	工場経営	4	III	篠崎講師		
	※財務管理	2	IV	未定		
	原価計算	4	III	久野助教授		
	監査論	4	III・IV	石河教授		
教職に関する科目	教育原理	3	II~IV	田中教授		
	商業科教育法	3	II	渡辺講師	札幌大学経済学部講師	
	※教育実習	2	III	岡本教授		
	教育史	3	II	田中教授		
	教育心理学	3	I・II	三宅講師	(9月開講) 北大教育学部助教授	
専科に関する科目	商業	職業指導	4	III	石井講師	北海道教育大学札幌分校助教授
	英語科	英語(上級I)	4	III・IV	ステューリー教師	外国人教師
		英語(上級II)	4	III・IV	木曾講師	小樽女子短大学長
英語学 I		4	III・IV	岡野講師	北海道大学文学部助教授	
	英文学 I	4	I・II	飛田助教授		

備考

(1) ※印は、集中講義の科目を示す。

(2) 英語 I・II の担当教官は次のとおりである。
 脇田教授, 飛田助教授, 北市助教授, 永原講師, 北村講師 (小樽商大短大教授), 山本講師 (小樽商大短大助教授), 木曾講師 (小樽女子短大学長), 野尻講師 (北大文学部助教授), ステューリー外国人教師, ステュー

リー夫人（外国人講師）。

- (3) 英語（上級Ⅰ）（上級Ⅱ）、英語学Ⅰおよび英文学は高等学校英語科二級普通免許状取得のための必修科目であると共に、一般学生の課外科目としての履修参加も認められる。また、英文学は一般教育科目の外国（英）文学とに分かれているが同じ講義であり、履修生の希望によりどちらか一方の単位となる。
- (4) 表中、専門教育科目欄における「経済学科のみ」欄の科目は、商業学科を希望する学生が履修しても卒業所要単位数には算入されない。（ただし、履修は本人の自由である。）同様に「商業学科のみ」欄の科目は、経済学科を希望する学生が履修しても卒業所要単位数には算入されない。

2 履修方法

学生は4年間在学し、次の事項に示された単位を修得することによって卒業資格が与えられる。

(1) 単位修得要領

各自が所属しようとする学科の単位一覧表が別表としてA表からK表に分かれて掲げられているから、それぞれの表と1の昭和42年度開講科目とで本年度の履修科目を検討し、履修届を提出しなければならない。

なお、表中の単位数は最低所要の単位数を示したものであるから履修の検討には十分な注意を必要とする。

- (2) A表からE表までは昭和42年度入学者に適用されるものであり、それぞれ学科別に分かれているから学科所属を決めた場合にはそれぞれの表が適用される。
- (3) F表は昭和42年度入学者で商業教員養成課程以外の学科に所属しようとする学生で高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望する学生はこのF表の単位をも修得しなければならない。
- (4) G表は昭和42年度入学者で高等学校英語科二級普通免許状の取得を希望する学生はこのG表の単位をも修得しなければならない。
- (5) H表は昭和41年度以前入学者（昭和41年度入学者の管理科学科に属する者を除く。）に適用し、I表は昭和40・41年度入学者で管理科学科に所属する学生に適用する。
- (6) J表は昭和41年度以前入学者で、商業教員養成課程（教職課程）の履修を条件とした入学者と、この課程以外の学生で高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望する学生はこのJ表の単位をも修得しなければならない。
（注）教職課程の学生はこのJ表の単位を修得することが卒業のための要件となっている。
- (7) K表は昭和41年度以前入学者で高等学校英語科二級普通免許状の取得を希望する学生はこのK表の単位をも修得しなければならない。
- (8) 文学の単位は日本文学、外国文学のうち、いずれか1科目だけが卒業のための所要単位数に算入される。

(9) 昭和42年度入学者の英語（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）は1年次毎週4時間4単位，2年次毎週4時間4単位，3年次毎週2時間2単位，合計10単位が必修となる。昭和41年度以前入学者の英語（Ⅰ・Ⅱ）は1年次毎週7時間7単位，2年次毎週6時間6単位，計13単位が必修となる。ただし，昭和39年度以前入学者は従前どおり12単位である。

(10) 英語以外の外国語（独・仏・中・露語）は，いずれか1カ国語を選択必修とし，1年次毎週4時間4単位，2年次毎週4時間4単位，計8単位を履修しなければならない。ただし，昭和41年度以前入学者の西語（Ⅱ）の履修については特別な措置が講ぜられる。

(11) 保健体育科目の実技2単位については昭和42年度入学者は1年次毎週2時間2単位の $\frac{2}{3}$ ，2年次隔週に2時間2単位の $\frac{1}{3}$ ，計2単位が必修となる。

(12) 研究指導は毎週3時間3年次から2カ年継続授業で12単位（卒業論文を含む）を履修しなければならない。この12単位は昭和42年度入学者にあつてはそれぞれ所属する学科で履修しなければならない専門教育科目80単位の中に含まれている。昭和41年度以前入学者にあつては履修しなければならない専門教育科目にそれぞれ含まれている。ただし，教員養成課程にあつては他の学科の研究指導を履修しなければならない。

研究指導を履修しない学生は研究指導12単位分を所属する学科の専門教育科目の履修によつて充足しなければならない。教員養成課程の学生にあつては他の学科の科目によつて充足しなければならない。

昭和42年度入学者で管理科学科に所属しようとする学生の研究指導12単位は必修である。昭和40・41年度入学者で管理科学に所属しようとする学生は4年次において8単位が必修となる。

80
12
28
40

A表 経済学科（昭和42年度入学者対象）

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3科目	12
	社会科学系	2科目	8
	自然科学系	2科目	8
	計	7科目	28
外国語科目	英語(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)を含め2カ国語	18	英語(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4科目	16	経済学概論, 商学概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営学総論, 会計学, 民法Ⅰ, 商法Ⅰ
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条別表第2「(2)イ, 経済学科」による。			

B表 商業学科（昭和42年度入学者対象）

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3科目	12
	社会科学系	2科目	8
	自然科学系	2科目	8
	計	7科目	28
外国語科目	英語(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)を含め2カ国語	18	英語(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4科目	16	経済学概論, 商業概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	マーケティング, 経営学総論, 労務管理, 簿記学, 会計学, 統計学 経済原論, 民法Ⅰ, 商法Ⅰ
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条別表第2「(2)ロ, 商業学科」による。			

C表 管理科学科〔管理科学コース〕（昭和42年度入学者対象）

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3 科目	12
	社会科学系	2 科目	8
	自然科学系	2 科目	8
	計	7 科目	28
外国語科目	英語(I・II・III)を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2 科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4 科目	16	経済学概論, 商学概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	研究指導(管理科学科研究指導I または管理科学科研究指導II) 統計学, 経済原論
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条別表第2「(2)ハ, 管理科学科〔管理科学コース〕による。			

D表 管理科学科〔機械化会計コース〕（昭和42年度入学者対象）

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目
一般教育科目	人文科学系	3 科目	12
	社会科学系	2 科目	8
	自然科学系	2 科目	8
	計	7 科目	28
外国語科目	英語(I・II・III)を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目
保健体育科目	2 科目	4	実技, 講義
基礎教育科目	4 科目	16	経済学概論, 商学概論 管理科学概論, 数学
専門教育科目		80	研究指導(機械化会計研究指導) 統計学, 経済原論, 簿記学, 会計学
卒業所要単位数(計)		146	
備考 専門教育科目のうち選択科目の単位修得方法については学則第14条別表第2「(2)ハ, 管理科学科〔機械化会計コース〕による。			

E表 商業教員養成課程（昭和42年度入学者対象）

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目	
一般教育科目	人文科学系	3 科目	12	
	社会科学系	3 科目	12	経済学概論, 法学(日本国憲法2 単位を含む)
	自然科学系	3 科目	12	数学
	計	9 科目	36	
外国語科目	英語(I・II・III)を含め2カ国語	18	英語(I・II・III) 英語以外の外国語のうち1科目	
保健体育科目	2 科目	4	実技, 講義	
基礎教育科目	2 科目	8	商学概論, 管理科学概論	
専門教育科目		60	統計学, 経済原論, 経営学総論, 簿記学, 会計学, 民法I, 商法I	
教職科目	6 科目	20	教育原理, 教育心理学, 商業科教育 法, 教育実習, 教育史, 職業指導	
卒業所要単位数(計)		146		
備考 専門教育科目のうち必修科目以外の科目の履修は, 経済学科, 商業学科 管理科学科, 法律関係科目の全科目から履修することができる。				

F表 商業科教員免許資格取得希望者（昭和42年度入学者対象）

区 分	単位数	履修科目(必修)
一般教育科目 (社会科学系)		法学(日本国憲法2単位を含む)
教職に関する 専門科目	16	教育原理4単位, 教育心理学4単位, 商業科教育法2 単位, 教育実習2単位, 教育史4単位
教科に関する 専門科目	4	職業指導
合 計	20	
備考 この表は商業教員養成課程以外の学科に所属する学生に適用するもの で, それぞれの学科の卒業所要単位数のほかに上記の単位数を修得し なければならない。		

F表 英語科教員免許資格取得希望者 (昭和42年度入学者対象)

区 分	単位数	必修科目	選択科目
一般教育科目 (社会科学系)		去学(日本国憲法之)	
外国語科目	32	英語(上級I)(上級II) 12 / (上級III)(上級IV) 単位 英語学I 英文学I 16 / II / II 単位	商業英語 4単位
教職に関する 専門科目	17	教育原理 4単位, 教育心理学 4単位 英語科教育法 3単位, 教育実習 2単位, 教育史 4単位	
合 計	49		

備考 一, それぞれ所属する学科の卒業所要単位数のほかに上記単位数を修得しなければならない。ただし, 商業教員養成課程の学生は外国語科目の単位数と教職に関する専門科目のうち英語科教育法を修得すればよい。
二, 教職に関する専門科目のうち「教育原理」「教育心理学」「教育実習」「教育史」は, F表, G表双方の場合に併用できる。

H表 経済学科および商業学科 (昭和41年度以前入学者対象)

系 列	科目数等	単位数	必修とする科目	
一般教育科目	人文科学系	3 科目	12	
	社会科学系	3 科目	12	経済学概論, 商学概論
	自然科学系	3 科目	12	数学
	計	9 科目	36	
外国語科目	英語(I・II)を含め2カ国語	21 (20)	英語(I・II)を含め2カ国語	
保健体育科目	2 科目	4	実技, 講義	
専門教育科目		84	統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営学総論, 簿記学, 会計学, 民法I, 商法I	
卒業所要単位数(計)		145 (144)		

備考 単位数(20)(144)は, 昭和39年度以前の入学者のみ適用する。

I表 管理科学科 (昭和40・41年度入学者対象)

区 分	科目数等	単位数	必修とする科目	
一般教育科目	人文科学系	3 科目	12	
	社会科学系	3 科目	12	経済学概論
	自然科学系	3 科目	12	数学
	計	9 科目	36	
外国語科目	英語(I・II)を含め2カ国語	21	英語(I・II)を含め2カ国語	
保健体育科目	2 科目	4	実技, 講義	
専門教育科目		102	管理科学概論, 応用数学(代数I) 応用数学(代数II)・応用数学(解析I)・応用数学(解析II)・応用数学(統計I)・応用数学(統計II), 統計学, 経済原論, ▲計量経済学 簿記学, 研究指導 「管理科学(生産I)・▲管理科学(生産II)」 「▲管理科学(販売I) ▲管理科学(販売II)」 「管理科学(経済I)・▲管理科学(経済II)」 上記3科目群のうち, いずれか2科目群 「計算機プログラム, 数値計算・▲数値解析」, 「▲機械化会計・▲事務機械化・▲情報処理」 上記2科目群のうち, いずれか1科目群	
卒業所要単位数(計)		163		

備考 専門教育科目における必修とする科目の欄のうち, 科目群とは「」内に掲げられた一連の授業科目をいい, その指定するところにより選択した「」内の科目は, そのすべてを必修とする。
▲印の科目については本年度開講しない。

J表 商業教員養成課程および商業科教員免許資格取得希望者

(昭和41年度以前入学者対象)

系 列	単位数	必 修 科 目	選 択 科 目
一般教育科目 (社会科学系)		法学 (日本国憲法) (2単位を含む)	
教職に関する 専門科目	14	教育原理 3単位 教育心理 3〃 商業科教育法 3〃 教育実習 2〃	▲教育社会学 3単位 教育史 3〃 ▲教育統計 3〃
教科に関する 専門科目	4	職業指導	
合 計	18		
備考 それぞれ所属する学科の卒業所要単位数のほかに上記単位数を修得しなければならない。▲印の科目については、本年度開講しない。			

K表 英語科教員免許資格取得希望者 (昭和41年度以前入学者対象)

系 列	単位数	必 修 科 目	選 択 科 目
一般教育科目 (社会科学系)		法学 (日本国憲法) (2単位を含む)	
外国語科目	24	英語 (上級Ⅰ) } 〃 (上級Ⅱ) } 12単位 〃 (上級Ⅲ) } 〃 (上級Ⅳ) } 英 語 学 Ⅰ } 〃 Ⅱ } 12単位 英 文 学 Ⅰ } 〃 Ⅱ }	
教職に関する 専門科目	14	教育原理 3単位 教育心理 3〃 ▲英語科教育法 3〃 教育実習 2〃	▲教育社会学 3単位 教育史 3〃 ▲教育統計 3〃
合 計	38		
備考 それぞれ所属する学科の卒業所要単位数のほかに上記単位数を修得しなければならない。但し、商業教員養成課程の学生は外国語科目の単位数と英語科教育法を修得すればよい。▲印は、本年度開講しない。			

Ⅱ 教授要目

1 一般教育科目

哲 学

教授 川 村 三千雄

I) 哲学の本質

- 1) 哲学の意味について, 語義及び一般的意味
- 2) 哲学の理論的意味
 - イ 哲学と常識
 - ロ 哲学と知識
 - ハ 哲学と科学
 - ニ 哲学的真理
- 3) 哲学の実践的意味
 - イ 日常性と哲学
 - ロ 伝統と哲学
 - ハ 人生と哲学
- 4) 哲学の発生について

II) 哲学思想の史的類型

- 1) 自然哲学 ギリシヤ古代の哲学
- 2) スコラの哲学 中世の神学的哲学
- 3) 近世哲学 近世の人間中心の文明の哲学
- 4) 現代的哲学 個人的, 社会的哲学思想

心 理 学

非常勤講師 梅 岡 義 貴
(北海道大学文学部教授)

日本文学

助教授 細谷直樹

世阿弥が著わした能楽論書「風姿花伝」を取りあげ、日本の代表的な芸術論書といえるこの書が、どのような人生の知恵を宿し、どのような時代環境の中で、どのように著わされたかを考えようと思う。

教科書、野上豊一郎、西尾実校訂「風姿花伝」(岩波文庫)

英文学

助教授 飛田茂雄

中世から Chaucer の時代、Shakespeare を中心とするルネサンス時代 Milton を中心とするピューリタニズム勃興の時代、その反動ともいべき王政回復時代、さらに古典主義と浪漫主義の時代を経て、イギリスの中産階級の文学が台頭するまでの英文学の歴史を、代表的な作品を鑑賞しながら講義する。特に英国演劇の発達、小説形式の成り立ち、浪漫主義復興の経緯に重点をおく。

テキスト：矢本貞幹他編、「概説英文学史」大学社(750円)(生協書籍部で購入のこと。)

フランス文学

教授 松尾正路

フランス文学を中心とした文学論。

ロシア文学

助教授 松本忠司

- I ロシヤ・インテリゲンツイヤ史概観
- II 作家論：ゴーリキイについて

歴史学

(前期) 助教授 阿部謹也

(A) 長期的目標

私達の現実認識・世界認識を深めてゆくための作業の一部として、ヨーロッパ世界像の検討をおこなうこと。具体的には、(1)明治維新期の歴史学の「

西洋文明とは何か」という問題設定(いわゆる文明史家の)から、最近の歴史学の「ヨーロッパとは何か」という問題設定への変化が、それぞれ、国内のどのような要請にこたえて生まれてきたものか、を明らかにし、それらへの批判をふまえて現在の日本における「ヨーロッパ史研究」の社会的意味を探ること。

(2)同時に、現代ヨーロッパの研究者によるヨーロッパ像構成の二・三の例を示し、それらの問題点を、(1)を発展させた論旨のなかで明らかにしたい。

(B) 本年度は

宗教改革と農民戦争を社会・経済史的背景をふまえた思想の問題としてとりあげたい。15・6世紀はヨーロッパにとつても、他の世界にとつても大きな転換期であるが、そのなかで、ドイツの民族、諸侯、都市の様々な動きを位置づける視点を探してみたい。具体的には、トーマス・ミュンツァーを話の中心におく。参考文献はそのつと示す。

社会学

非常勤講師 笹森秀雄
(北海道大学文学部助教授)

第1編 社会学方法論

第1章 社会学論

第2章 社会学研究法

第2編 社会学の理論と社会的現実

第1章 人間と社会

第2章 集団と社会

第3章 文化と社会

第4章 階層と階級

第5章 大衆社会

第6章 社会変動

第7章 社会問題と社会学

第8章 社会学の現代的課題

※社会思想史

非常勤講師 浜 林 正 夫
(東京教育大学文学部助教授)

- 序 論 社会思想と社会科学
- 第1章 近代民主主義思想の形成
 - (イ) ルネサンスと宗教改革
 - (ロ) 北欧ヒューマニズム
 - (ハ) 経 験 論
 - (ニ) 社会契約論
- 第2章 市民社会の思想
 - (イ) イギリス市民社会と経済学
 - (ロ) フランス市民社会と社会学
 - (ハ) ドイツ市民社会と観念論
- 第3章 社会主義思想の形成
 - (イ) 市民革命期のユートピア思想
 - (ロ) 空想社会主義
 - (ハ) マルクス主義
- 第4章 現代の社会思想
 - (イ) プラグマティズム
 - (ロ) 論理実証主義
 - (ハ) マルクス主義の展開

法 学

助教授 中 川 良 延

本講義では法とは何か、というような、法一般について抽象的な議論はできるだけ避けて、個々の法の分野、たとえば憲法とか民法とか商法というような法のしくみを理解し、これを通して法一般についての問題点なり、その考え方を身につけるように進める。そして個々の法についてはどんな理論的構造から成り立っているか、そのような構造は歴史的にどのように成立したか、さらに現在のしくみは實際上どんな機能をはたしているか、といった事柄に重点がおかれる。

参考書 今村成和・小山 昇 編 法学 有斐閣 500円

物 理 学

講 師 原 田 稔

現代物理学の戦略(自然に対する基本的姿勢)に重点をおいて、その基本的戦術(概念及び理論)を解説する。教科書は定めないが次に掲げるものが参考になろう:

玉木英彦・板倉聖宣著「現代物理学の基礎」(東大出版会)

アインシュタイン・インフェルト著「物理学はいかにして創られたか」上・下(岩波新書)

化 学

教 授 齋 藤 要

元来化学は一つの教育体系を持つておるが、それは化学、またはその応用を専門とする学生に対して都合よくできている。この体系を希釈したり、あるいは一部を拡大して非専門の学生に教授するのであるが、本年度は化学の発展史をたどりながら、元素を中心とする物質観とか法則を系統的に述べると共に、時間が許せば技術革新に対応する応用化学の一端と、その問題点などについても論じ、教養の一端に資したい。

2 外国語科目

英語(1)

(A)は講読を中心とする, また(B)は口頭練習を中心とする。

<各クラス共通テキスト>

Vernon Brown, Improve Your Pronunciation (明隣堂) ¥280.00

<Aクラス テキスト>

(A) Erich Fromm, he Art of Loving (松柏社) ¥200.00

(B) Vernon Brown, Speak English, Book II (明隣堂) ¥380.00

(A) 助教授 飛田茂雄

(B) 外人教師 リチャード・ステラー

<Bクラス テキスト>

(A) 20th Century American Short Stories (開文社) ¥180.00

(B) Vernon Brown, Speak English, Book II (明隣堂) ¥380.00

(A) 講師 永原和夫

(B) 外人教師 リチャード・ステラー

<Cクラス テキスト>

(A) 20th Century American Short Stories (開文社) ¥180.00

(B) C English: he Senior Course I (株式会社テック) ¥300.00

(A) 講師 永原和夫

(B) 助教授 北市陽一

<Dクラス テキスト>

(A) William S. Maugham, he Mixture as Before(モム第7巻)

(英宝社) ¥240.00

(B) Vernon Brown, Speak English, Book II (明隣堂) ¥380.00

(A) 教授 脇田

(B) 外人教師 リチャード・ステラー

<Eクラス テキスト>

(A) Frank O'Connor, he Babe in the Wood (山口書店) ¥130.00

(B) TEC English: The Senior Course I (株式会社テック) ¥300.00

(A) 助教授 飛田茂雄

(B) 非常勤講師
(小樽商大短大教授) 北村正司

<Fクラス テキスト>

(A) William S. Maugham, The Mixture as Before (モム第7巻)
(英宝社) ¥240.00

(B) Vernon Brown, Speak English, Book II (明隣堂) ¥380.00

(A) 教授 脇田 勇

(B) 非常勤外人講師 キヤサンドラ・ステラー

英語(2)

<Aクラス テキスト>

(R₁) George Orwell, Nineteen Eighty-Four (英潮社ペンギンブック)
¥400.00

(R₂) Henry Brandon, Who are the Americans (英宝社) ¥240.00

(O) Vernon Brown, Speak English, Book III (明隣堂) ¥380.00

(R₁) 非常勤講師
(北海道大学助教授) 野尻吉之進

(R₂) 助教授 北市陽一

(O) 外人教師 リチャード・ステラー

<Bクラス テキスト>

(R₁) L. Barnett, The Treasure of Our Tongue (松柏社) ¥200.00

(R₂) Henry Brandon, Who are the Americans (英宝社) ¥240.00

(O) William L. Clark, Spoken American English (中級用)

(研究社) ¥380.00

(R₁) 講師 永原和夫

(R₂) 助教授 北市陽一

(O) 非常勤講師
(小樽女子短大大学長) 木曾栄作

<Cクラス テキスト>

(R₁) A. Huxley, Brave New World (英潮社ペンギンブック) ¥380.00

(R₂) John Hadfield, ed., Modern Short Stories
(Everyman's Library) ¥330.00

(O) William L. Clark, Spoken American English (中級用)
(研究社) ¥380.00

(R₁) 非常勤講師 山本幸男
(小樽商大短大助教授)

(R₂) 講師 永原和夫

(O) 助教授 北市陽一

<Dクラス テキスト>

(R₁) Fitzgerald, Great Gatsby (英潮社ペンギンブック) ¥380.00

(R₂) J. D. Salinger, The Cather in the Rye
(英潮社ペンギンブック) ¥380.00

(O) William L. Clark, Spoken American English (中級用)
(研究社) ¥380.00

(R₁) 非常勤講師 野尻吉之進

(R₂) 助教授 飛田茂雄

(O) 教授 脇田勇

<Eクラス テキスト>

(R₁) L. Barnett, The Treasure of Our Tongue (松柏社) ¥200.00

(R₂) William S. Maugham, The Summing Up, [1] & [2]
(大阪教育図書) ¥380.00

(O) Vernon Brown, Speak English, Book III (明隣堂) ¥380.00

(R₁) 講師 永原和夫

(R₂) 教授 脇田勇

(O) 非常勤外人講師 キヤサンドラ・ステーリー

<Fクラス テキスト>

(R₁) A. Huxley, Brave New World (英潮社ペンギンブック) ¥380.00

(R₂) William S. Maugham, The Summing Up, [1] & [2]
(大阪教育図書) ¥380.00

(O) William L. Clark, Spoken American English (中級用)
(研究社) ¥380.00

(R₁) 非常勤講師 山本幸男

(R₂) 教授 脇田勇

(O) 非常勤講師 北村正司

独 語 I・II Aクラス 非常勤講師 菅原隆一
(北海道大学文学部講師)

<テキスト> 1年は中川教官と同じものを使用。
2年「第5の幻影」¥230.00

独 語 I・II Bクラス 助教授 中川勇治

独語授業の目的を、教養としての外国語習得におく。

独語I 文法学習を主体とする。発音指導、作文、会話などは文法の進度に応じておこなう。

辞典、参考書は授業時に紹介する。

用書、教用ドイツ文典 山川文平著 第三書房

独語II 中級程度の独文読解を目標とする。前期は主として基礎知識の反復習熟を目ざし、作文、会話などをおこなう。後期は現代のドイツ語を中心とした読解力養成につとめる。

用書、2 B Schulz—Griesbach Deutsche Sprachlehre für
Ausländer Grundstufe

(外国人用ドイツ語教程) 三修社扱い。¥600.00

独 語 I・II 外国人講師 Klaus Müller

仏 語 I・II 教授 松尾正路

仏語 特設クラス (木曜日)

非常勤講師
(北海道大学文学部講師) 中山 毅

教科書: 新フランス文法 鈴木・山本共著 雄渾社

仏語 特設クラス (火曜日)

非常勤講師
(北海道大学文学部講師) 白井成雄

教科書: フランス語読本 (I) 鈴木・山本共著 雄渾社

中国語 I・II

教授 川上久寿

1年

テキスト 基本構造中国語教本 藤堂明保・香坂順一共著

光生館発行 定価 430円

辞典 1. 現代中日辞典 香坂・太田共著 光生館発行 定価 1,500円

2. 中国語辞典 鐘ヶ江信光著 大学書林発行 定価 1,500円

3. 岩波中国語辞典 定価 1,500円

以上3種の辞典のうち1か2は必須。

2年

改訂・注音 林家鋪子 (文字改革出版社版複製) 光生館発行 280円

露語 I・II

助教授 松本忠司

テキスト

1年 入門ロシア語文法 (白水社)

基礎ロシア語読本 (白水社)

2年 基礎ロシア語読本 (第II部, 第III部)

ゴーリキイ戯曲集

辞典 岩波露和辞典 コンサイス和露辞典

3 保健体育科目

体育実技

助教授 杉山 登

講師 藤江 正

非常勤講師
(小樽商業) 中川平悟

1 必須実技種目

(1) 水泳 実技内容としては、簡易泳法、自由型、平泳、背泳、横泳、潜水泳、逆跳込み、立泳、救助法 (人工呼吸法も含む) であり、目標とするところは泳力をつけることにあり、初級者は一泳法で100米点泳を目標としたい。この実習を通して指導法、管在法に関する知的な面の修得をもはかる。

(2) スキー 実技内容としては、直滑降、斜滑降、プルーク、プルーク・ボーゲン、ザイト・ルツチェン、各種クリスチャニア、ウエデルンについて実習する。初級、中級、上級の三段階に分け初級班では一年次でプルーク・ボーゲン、二年次でシュテム・クリスチャニアくらいまでを目標とし、上級班は一年次でウエーデルン、二年次でポール技術、深雪の技術くらいを目標としている。

実施時期

水泳 6月から7月にかけて一年次で4週間 (8時間) 二年次で3週間 (6時間) 実施するが、決定次第掲示等により通知する。

スキー 1月から2月にかけて一年次で4週間 (8時間) 二年次で3週間 (6時間) 実施する。

2 選択実技種目

バスケット・ボール、バレー・ボール、羽球、卓球、ソフト・ボール、軟式野球、硬式野球の7種目であるが、選択種目に関しては4月~6月、9月~12月の2期間中において、各期間毎に異った種目を1種目自由選択し履習するものとする。なお人員等の関係から選択種目の変更をさせることもありうる。

3 体力・運動能力の測定

反復横とび・50米走（敏捷性），垂直とび・走り巾とび（瞬発力），背筋力・握力（筋力），踏み合昇降運動・1,500米走（耐久性），伏臥上体そらし・立位体前屈（柔軟性），バランス（平衡性）の測定の外に，若干の測定種目を加えて，5月と11月の2回実施し，これらのどの分野の能力に優れ或いは劣っているかを判断し，それに応じた自己の体力増進方を考え実践させるように努める。

体育講義

（前期前半）非常勤講師 常見 郁 雄
（小樽協会病院内科医長）
（前期後半）助教授 杉 山 登

4 基礎教育科目

経済学概論

前期 教授 麻 田 四 郎
後期 教授 竹 内 清

下記のテキストを使用して，近代経済学の入門的講述を行なう。
テキスト サムエルソン（都留重人訳）『経済学上・下』昭41. 42

¥900, ¥1,100

Samuelson, Economics, 6th ed. International Student edition.

聴講者は上記原書，翻訳のいずれかを購入のこと。

商学概論

教授 岡 本 理 一

商業に関する一般的解説を行ない，もつて現代商業の研究に必要な準備的基礎的知識をあたえると同時に，企業の経営に関する一般的知識をあたえることを目的とする。

1 商業の学問

(1)学問とは何か (2)商業学の発達 (3)経営学の発達

2 商業の起源とその発達

(1)商業の発生 (2)段階別発達 (3)機能別発達

3 商業の意義

(1)商品売買業 (2)配給組織体 (3)取引企業

4 商業の構造

(1)商業の主体 (2)商業の形態 (3)商業の客体

5 配 給

(1)配給組織 (2)小売商 (3)卸売商

(4)マーケティング

6 貿 易

(1)貿易の機構 (2)貿易の経営 (3)貿易政策

7 金 融

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| (1)金融機関 | (2)銀行の業務 | (3)金融政策 |
| 8 投 資 | | |
| (1)有価証券 | (2)証券取引所 | (3)証券投資信託 |
| 9 交 通 | | |
| (1)陸 運 業 | (2)海 運 業 | (3)通 信 業 |
| 10 保 管 | | |
| (1)倉 庫 業 | (2)倉 庫 証 券 | (3)倉庫業の業務 |
| 11 保 險 | | |
| (1)保険の意義 | (2)生命保険 | (3)火災保険 |
| (4)海上保険 | | |

テキストとして福田敬太郎著「商業総論」(昭和40年7月, 千倉書房刊)を使用する。

管理科学概論

教授 古瀬 大 一

(1) 目 的

社会科学の研究方法についての基礎的知識を与えるとともに, 管理科学の入門としても役立たせる。

(2) 内 容

科学の方法
社会科学と自然科学の統一的理解
情報科学
論理学入門
コンピューター入門
コンピューターの社会的・政治的影響
未来の社会

(3) テキスト

未定

数 学

教授 武 限 良 一

微分積分学の講義を行なう。

教科書 岩切晴二著 微分積分学精説改訂版(培風館) ¥620.00

5 専門教育科目

統 計 学

教授 竹 内 清

1 使用テキスト

森田優三編「現代経済学演習講座統計学」, 青林書院, 昭和40年

2 講 義 内 容

記述統計学および推測統計学の基本を通し, 経済学をはじめとする社会科学の諸問題への応用力を高めることを主眼とする。

参考文献は適宜紹介する。なお, 教室内での小さな試験の如きものを随時適当に行なうこととする。

経 済 原 論

後期 教授 藤 井 栄 一

主なる参考文献:

- サムユエルソン「経済学」(できるだけ新しい版が望ましい)
- ステイグラ「価格の理論」(できれば3版)
- ケインズ「一般理論」
- アクレイ(Ackley), *macroeconomics*
- [ケインズの解説書には疑わしいものが多いので, 注意が必要である]
- ヒックス「価値と資本」
- ドーフマン・サムユエルソン・ソロー「線型計画と経済理論」
- A・E・A, *Readings in Price Theory*
- A・E・A, *Readings in the Theory of Income Distribution*
- A・E・A, *Readings in the Monetary Theory*
- マーシャル「経済学原理」
- Patinkin, *Money, Interest and Prices*
- (Lipsey, *Positive Economics*——入門書として)

講義内容:

- I 価値論(需要・供給・均衡)
- II 国民所得(所得決定・価格水準・貨幣利子率)
- III 経済成長(主としてneo-classical growth)

IV 厚生経済学 (主としてneo-neo-welfare economics)

原則としてはpre-requisiteはないが、「経済学概論」を履修済みでない講義をフォローすることがかなりむずかしいようである。経済学的なものの見方に慣れていることがある程度までは必要のようである。

経済変動論

非常勤講師 長谷部 亮
(北海道大学経済学部助教授)

テキストを使用する。

近代経済学講座4, 「成長と循環」, 有斐閣刊。

経済学特殊問題

非常勤講師 降旗 節 雄
前期(北海道大学経済学部助教授)

資本主義経済の原理論を, 流通形態論, 生産過程論, 分配関係論の三つの理論領域にわけてあきらかにする。なお, その序論として, 簡単な社会構成史と, 資本主義発達史の基本的構造について説明をあたえ, 最後に補論として帝国主義論, 現代資本主義論, 日本金融資本分析についてもふれる。

テキストは降旗『資本論体系の研究』(青木書店刊)

参考文献は, マルクス『資本論』, ヒルファアーディング『金融資本論』, レーニン『帝国主義論』。以上の著作はすべて数種の邦訳があるが, どれを用いても可。

経済史概論

後期 担当者 未 定

日本経済史 (E)

助教授 安孫子 麟

生産様式諸段階展開の世界史的法則の理解を前提として, とくに日本社会の特質を明らかにするために, つぎの点に力をおく。

- (1) 前資本主義社会は, その特質のひとつとして, 階級関係を身分関係として表現しているが, その物的基礎は, 前資本主義社会を貫く「共同体」にある。この「共同体」の構造を手がかりに, 日本の前資本主義社会の本質

を明らかにし, 資本主義社会の日本的形態(類型)への連続性を把握する。

- (2) 資本主義社会の成立過程が, 日本ではどのような形態で進行したかを考察する。「共同体」の揚棄・資本関係の成立の仕方は, 直接に日本資本主義の再生産構造の型を決定しているが, この点から, 日本近代の特殊歴史的類型を明らかにする。

本年度の講義は, 日本資本主義の成立に重点をおき, ほぼつぎの構成をもつて行なう。

- I 解体期封建社会の構造
- II 封建的危機
- III 明治維新
- IV 産業資本の形成と日本社会
- V 帝国主義への転化

教科書はとくに定めない。参考書としては, とくに社会規定に関するものとして, 中村吉治編「社会史」II (山川出版社)をあげておく。その他については, そのつど指示する。

農業経済学 (E)

非常勤講師 崎 浦 誠 治
(北海道大学農学部教授)

社会政策 (E)

教授 吉 武 清 彦

- 第一篇 社会政策史
- 第二篇 社会政策本質論
- 第三篇 社会政策各論

参考書 大河内一男 社会政策(総論及び各論)有斐閣
岸本英太郎 社会政策(ミネルバ書房, 昭和40年)
隅谷三喜男 労働経済論(日本評論社, 昭和40年)

財政学

助教授 早 見 弘

今年度は以下の編成によつて講義する予定である。

- 1 財政支出の長期的形態

- 2 公共財の性質
- 3 租税収入および租税負担の分析
- 4 租税原則論
- 5 租税各論——個人所得税と法人税の構造およびその経済効果——
- 6 財政政策論——財政収支の乗数分析, ビルトイン・スタビライザーおよび国債管理政策——

テキストは使わない。以下の文献を参照することが多い。

マスグレイヴ, 木下和夫ほか訳『財政理論』I・II・III (有斐閣)

井藤半弥『財政学総論』(千倉書房)

Musgrave & Shoup(eds.), Readings in the Economics of Taxation (Irwin, 1959).

Smith & Teigen (eds.), Readings in Money, National Income and Stabilization Policy(Irwin, 1965).

その他, 藤田晴『財政政策の理論』, 江見・塩野谷『長期経済統計・財政支出』など。

国際経済論

教授 麻田 四郎

前半を貿易理論, 後半を貿易政策として, 本年は特に後半に多く時間を割きたい。

- 1 古典派貿易理論 (比較生産費説, 国際価値論, 交易条件, 外国為替)
- 2 近代的貿易理論 (貿易乗数, 国内均衡, 国際均衡)
- 3 国際経済体制の理論と実際 (IMF, 世銀, GATTその他)
- 4 国際経済における最近の諸問題 (低開発国, 国際流動性, 自由化その他)

参考書 ハロツド(藤井 茂)訳『国際経済学, 改訂版』昭33, 実業之日本社
G.H.マイヤー (麻田, 山宮訳)『国際貿易と経済発展』昭40,

ダイヤモンド社

小島 清『外国貿易, 学習用テキスト版』昭41, 春秋社

※国際金融論

非常勤講師 島 本 融
(北海道銀行取締役会長)

金融経済論

後期 担当者 未 定

マーケティング

教授 岡 本 理 一

マーケティング・マネジメントに重点をおいて講述するが, 中小企業問題にも関説する。

- 1 マーケティングの概念
 - (1)マーケティングの意義 (2)マーケティングの研究の現状
- 2 マーケティング・ミックスの適正化
 - (1)製品計画について (2)売価政策について
 - (3)販売促進について (4)販売経路について
- 3 販 売 経 営
 - (1)販売経営の管理 (2)販売計画 (3)販売予算
- 4 市 場 調 査
 - (1)市場調査の意義 (2)市場調査の方法 (3)販売割当
- 5 製 品 計 画
 - (1)製品計画の重要性 (2)製品計画の方法
- 6 販 売 政 策
 - (1)販売決定の意義 (2)販売決定の方法
- 7 広 告 の 管 理
 - (1)広告の意義 (2)広告効果の測定 (3)広告費
 - (4)ラジオ・テレビによる広告
- 8 販 売 経 路 の 管 理
 - (1)配給組織の合理化 (2)販売組織の系列化
- 9 協 同 組 合
 - (1)協同組合の意義 (2)協同組合の配給事業 (3)商工組合
- 10 中 小 企 業 問 題
 - (1)中小企業の特質 (2)中小企業の経営合理化 (3)中小企業の組織化

特定のテキストを使用せず, 講義に際し, 毎時, 要綱を印刷したものを配布する。

商業英語

非常勤講師 木曾栄作
(小樽女子短大学長)

国際貿易の実務的知識を与えつつ、貿易取引に用いられる実用的英語に重点をおいてその構造的異性を講述して、その表現応用能力の養成につとめる。

テキスト 虎尾正助著 英語外国貿易通信
浜谷源蔵著 貿易要論

※保険論

非常勤講師 久木久一
(専修大学教授)

- 1 保険の生成発展
- 2 保険の本質
- 3 保険類似の施設
- 4 保険の技術的基礎
- 5 保険の可能の限界
- 6 保険の組織
- 7 保険の形態——保険の種類
- 8 保険料
- 9 保険資産とその運用
- 10 保険事業収益の源泉
- 11 保険事業の監督

証券市場論

後期 助教授 石原定和

戦前における証券市場論は、一口でいえば証券取引所論であり、商業学の一部門として、商品・証券の両取引所をふくめて体系づけられていた。これは、戦前の財閥が封鎖的な資金の調達方法を用いていたため、公開された証券市場では企業の資金調達という機能よりも、むしろ投機取引という商品売買に共通した面だけが利用されていた事実の反映である。

戦後になると、財閥企業も長年の蓄積を失って再出発が必要となつたし、財閥解体によつて、株式市場は企業の資金調達という本来の機能をはたさね

ばならなくなつた。それとともに証券市場論も取引所の中だけでなく、一方では企業の資金調達面や他方では金融市場との広い関連のなかで取扱われねばならなくなつてきた。とくに、今回の証券市場の機能まひに伴う金融市場側からの救済政策をみてもわかるように金融論との関連性は重要である。

本年の講義においては、証券市場論を経営財務論、取引所論および金融論と関連させながら概観する。その構成はつぎのとおり。

- 1 証券制度
 - 1) 資本主義と有価証券
 - 2) 株式と社債
 - 3) 株式会社
- 2 証券の流通
 - 1) 証券流通
 - 2) 有価証券化
 - 3) 取引所
- 3 証券の価格
 - 1) 擬制資本
 - 2) 株式価格(投機の役割)
- 4 証券市場と金融市場
 - 1) 証券と資金の流通
 - 2) 証券の所有構造
- 5 証券業
 - 1) 証券業務
 - 2) 証券投資信託
- 6 証券市場の歴史
 - 1) 各国証券市場の歴史と実態
 - 2) わが国証券市場の歴史と証券政策なお、特定の教科書は使用しない。参考書については講義の都度紹介し、その内容と特徴をも説明する。

証券金融論

助教授 鈴木満直

講義の目的：日本の証券市場を金融市場(広義)のなかで位置づけして概観し、それを背景にしてわが国証券金融の特色を明らかにする。

講義の内容：

- 1 わが国証券市場の概観
 - (イ) 資金循環(マネーフロー)の実態
 - (ロ) 証券市場の制度
 - (ハ) 発行者の行動
 - (ニ) 投資家(機関投資家を含む)の行動 ポートフォリオ選択

2 わが国の証券金融

- (イ) 証券発行金融
- (ロ) 証券売買金融
- (ハ) 証券保有金融

参考書 木村増三 証券市場概論

経営経済学

教授 伊藤 森右衛門

- 第一章 経営学の方法と体系
 - 経営経済学と経営管理学—
- 第二章 企業体制の歴史的展開
 - 企業形態と経営自主体—
- 第三章 現代企業とその指導原理
 - 経済性, 収益性, 生産性—
- 第四章 企業の組織的構造と管理機能
- 第五章 経営政策と全般管理
- 第六章 経営政策と意思決定
- 第七章 経営政策と労使関係
- 第八章 経営政策と経営者

参考書 山城 章著「経営学原理」白桃書房
 占部都美著「近代管理学の展開」
 同 「現代の企業行動」日本経営出版会
 拙著「経営者リーダーシップ論」評論社
 平井泰太郎編「経営学事典」青林書院新社
 以上のほかは講義のなかでその都度示す。

簿記学

Aクラス非常勤講師 藤田 芳夫
(小樽商大短大助教授)

- (1) クラスの編成
 - Aクラス：66001～66150, 0001～0150のうち単位を取得していない者。
- 1 教科書 沼田嘉穂 簿記教科書 同文館 ¥ 490

ただし、教科書から離れて自由に講義する部分もある。

- 2 範囲 教科書の第19章まで。
- 3 別冊 記帳練習帳によつて記帳練習を行なう。
- 4 久野助教授の担当クラスと大差ないように適宜連絡・調整しつつ実施する。
- 5 試験は年三回以上実施する。

簿記学

Bクラス 助教授 久野 光朗

- (1) クラスの編成
 - 学籍番号によつて次のクラスに分ける。
 - Bクラス：66151～66279, 0151～0263および昭和40年度以前の入学者で単位を取得していない者。
- (2) 授業内容
 - 最初の授業時間に授業計画と学習方法を説明し、あわせて参考書の紹介などをいたしますが、授業内容は次のとおりです。

- §1 総論
- §2 貸借理論
- §3 勘定理論
- §4 帳簿組織論
- §5 決算理論

- (3) テキスト
 - 沼田嘉穂, 「簿記教科書(記帳練習帳を含む)」(同文館)
- (4) 参考書
 - 片野一郎, 「簿記の手ほどき」(同文館)
 - 片野一郎, 「新版簿記精説」(同文館)
 - 井上達雄, 「新版例解会計簿記精義」(白桃書房)
 - 石河英夫, 「商業簿記要論」(お茶の水書房)
 - 山根・飯野・染谷共編, 「簿記原理」・「上級簿記」(有斐閣)
 - 黒沢 清, 「改訂簿記原理」(森山書店)
- (5) 備考

上記のとおり併行講義であるが、テキストを統一し、かつ、授業の進行およびテストなどについても調整をはかるようにする。

工場経営 (C)

講師 篠崎恒夫

工場経営の歴史的発展と生産管理の体系を中心として工場経営の諸問題を論ずる。講義内容以下の如し。

序 I 導入的諸概念

II 工場経営論の本質と意義

第一部 工場経営の歴史的展開

第一章 工場経営の確立

第二章 科学的管理法の展開

第三章 フォードシステム

第四章 人間関係論の抬頭

第五章 オートメーション

第二部 工場経営の機能と組織

第六章 全体経営と生産管理

第七章 生産管理の体系と手法

第八章 生産管理組織

第三部 工場経営の諸部面

第九章 工場労務

第十章 工場財務

第十一章 工場の管理会計

第十二章 資材と機械設備

参考書：講義中に随時指示する。

※財務管理 (C)

担当者 未定

原価計算 (C)

助教授 久野光朗

最初の授業時間に授業計画について説明をする予定ですが、講義の進め方

は次のようにしたいと考えています。

§1 総論

§2 実際原価の計算

§3 標準原価の計算

§4 原価差額の処理

テキストはとくに指定しませんが、各自で必ず「原価計算基準」を用意してください。

参考書：

片野 一郎、「工業簿記の手ほどき」(同文館)

青木 茂男、「原価計算新稿」(中央経済社)

山辺 六郎、「最新原価計算精説」(白桃書房)

番場嘉一郎、「原価計算論」(中央経済社)

商業数学

教授 武隈良一

商業数学といつても内容は経営数学である。(近く学科課程審議委員会ならびに教授会の議を経て、経営数学と改称される筈である)。商業学科と経済学科の学生のための講義なので、数学の面を強調することなく、主として応用について述べる。O.R.のなかから題材が選ばれるが、以下のものを講義する予定である。

1 集合と記号論理

2 線型計画法

3 ゲームの理論

4 待ち合せの理論

5 情報理論

6 モンテカルロ法

7 ダイナミック・プログラミング

8 その他

教科書は履習者(3, 4年に限る)が確定したときに決定する。

会 計 学

教授 石 河 英 夫

- I 会計学の概念
- II 企業会計の本質・職能
- III 企業理論の展開
- IV 企業会計の基礎的前提
- V 企業会計原則の成立・構造
- VI 企業会計の一般原則
- VII 損益計算書原則
- VIII 貸借対照表原則

(注) 商法ならびに法務省令「計算書類規則」との関連性を考慮して述べる予定である。

監査論 (C)

教授 石 河 英 夫

管理科学 (生産 I)

教授 古 瀬 大 六

管理科学 (経済 I)

助教授 西 川 欽 也

来年度前期開講予定の管理科学 (経済 II) とあわせて次のテーマにつき講義と輪講を行なう。

- I 国民経済計算
- II 産業連関分析
- III 線形モデルと成長理論
- IV 予測モデル・計画モデル

輪講はゼミ形式で学生のレポートを中心とし、全体では講義より輪講の方が大きなウェイトを占める。なお、4年次で管理科学研究指導 I (経済) を受けるものは、管理科学 (経済 I) と同 (経済 II) は研究指導の中に一括されることになる。

使用テキストなど詳細は未定であるが参考書として一応次のものをあげておく。

宮沢健一：日本の経済循環 (春秋社)

Stuvel: Systems of Social Accounts (Oxford)

Dosso: Linear Programming & Economic Analysis (McGraw)

福地崇生：線型経済学入門 (東洋経済新報社)

二階堂副包：経済のための線型数学

同 上 : 現代経済学の数学的方法

応用数学 (代数 I)

助教授 沼 田 久

管理科学のために必要な代数学、すなわちベクトル、行列、行列式、非負行列、線型不等式、ゲームの理論等について一応の知識を与えることを目的とする。高等学校的数学の得手不得手とはあまり関係はないが、若干の抽象的思考の能力または根気が必要である。これまでの例では途中で脱落する者も多い。参考書としては下記のようなものがある。

行列と行列式 古屋 茂 (培風館)

経済のための線型数学 二階堂副包 (培風館)

線型数学 D.Gale, 和田・山谷訳 (紀伊国屋)

応用数学 (代数 II)

助教授 沼 田 久

前年度の応用数学 (代数 I) に引き続いて線型不等式、ゲームの理論、線型計画等を講義する。

教科書：二階堂副包 経済のための線型数学 (培風館)

応用数学 (解析 I)

助教授 穂 鷹 良 介

解析学は広汎な応用分野をもつ数学の一大領域である。その研究対象は主に連続量の考察であると言ってよい。管理科学を学ばんとする諸君は、その中の確率論、数理統計学、オペレーションズ・リサーチ、数理経済学等においてこの解析学の知識が必要不可欠なものであることを知るであろう。

本講ではこれらの応用のために必要な基礎知識や演習をまじえ、ていねいに講義する。

使用テキスト

河田敬義「集合・位相・測度」岩波講座 現代応用数学 A.2.

この本は教材として配布する予定であるので、聴講を希望する学生は早目に教務係で受取つてほしい。このテキストは証明が簡潔に述べられているが、もつと詳しい説明を読みたい学生は、次の参考文献を利用されたい。特に図書館に大量に備えられているので、講義の際にもひんばんに引用する予定である。

- 1 高木貞治「解析概論」岩波書店
- 2 田島一郎「解析学入門」好学社
- 3 稲垣武他「集合論・抽象代数学」

共立出版株式会社, 数学演習講座・1

- 4 M. Loève Probability Theory, Van Nostrand

応用数学 (解析Ⅱ)

助教授 穂 鷹 良 介

前年に引続き実変数函数論の主要なテーマであるルベグ積分について講義する。

使用テキスト 吉田洋一著「ルベグ積分入門」培風館

応用数学 (統計Ⅰ)

助教授 神 田 祐 一

標本分布を中心にして講義と演習を行なう。

参考文献 D. A. S. Fraser: Statistics, An Introduction,
Wiley-トツパン, ¥980.

応用数学 (統計Ⅱ)

助教授 神 田 祐 一

実験計画法を中心にして講義と演習を行なう。

参考文献は応用数学 (統計Ⅰ) と同じ。

計算機プログラム

助教授 戸 島 潤

電子計算機の普及はめざましい。今日では科学研究はいうまでもなく、大量のデータの処理や情報検索などのためにも電子計算機は必要不可欠な道具となつている。最近よく「情報革命」という言葉をきくが、電子計算機こそはまさにその革命の有力な手の一のひとつてであろう。しかし、世上に流布している電子計算機観は、その万能性を強調するスーパーマン型か、又は単なる計算補助具としかみない高速算盤型かのいずれかであるが、両者とも真相から遠ざかった偏見である点において同罪である。

この講義の最大の狙いは、電子計算機には何ができて何ができないかを、電子計算機に実際に問題をとかせてみる演習を通じて次第に実践的に受講者に会得してもらうことである。いいかえれば、電子計算機の使用経験者をつくるのがこの講義の目的である。従つて「100の理論より1つの実践」という格言を地で行くことになる。

なお、「計算機プログラム」とは電子計算機に所望の仕事させようという、論理的にも文法的にもあやまりのない一群の命令のことをいう。ここでとくに文法的といったのは命令のつくり方・あらわし方に一定の言語=文法があるからである。FORTRANとかALGOLというのはこれらの言語の名前である。

講義は上述のようにいわば「実技」が主であるが、もちろん口頭の教示も行なう。さらに受講者の習得具合をみるために毎時間の1部をさいてアチーブメント・テストを行なう。

使用テキスト

森口繁一著 FORTRANⅣ入門 東京大学出版会

森口繁一編 ALGOL入門 日本科学技術連盟 (JUSE出版社)

数値計算

助教授 戸 島 潤

この講義は一応前年度に「計算機プログラム」を受講した者のレベルを想定する。すなわち、FORTRAN, ALGOLを不自由なくつかいこなせ(このことは例えば問題とそのとき方さえ示されれば、それらの言語を使つて比

較的短時間のうちにプログラムをつくることができるということである)さらにアセンブラー言語にも一通りの理解があるということを前提とする電子計算機は最近ますます多面的な使われ方をされるようになった。それに伴って、計算機のプログラミングもシステムプログラミングと個別的問題に応じた1回毎のプログラミングに分極化していつている。

この講義では電子計算機との関連で数値計算を扱うが、そのさいとくにシステムプログラミングを考える。個別的問題をとくプログラムはたいてい場合それほど面倒でもないし、きわだつた問題点がたくさんあるわけでもない。実際、FÖRTRANなどは習得も容易にできるし、個別的問題はほとんどこれひとつでプログラムをくむことができる。このいみでFÖRTRANどを使つて自分自身でプログラミングする能力は研究者としての最低の条でなければならない。筆者はかなりの年配の研究者が自分でプログラムをくり、その計算結果に一喜一憂している姿を数多く知つている。今や個別問題について、例えばプログラマーなどに頼る時代はすぎたといつてよい。かりにその弊がいまだにあるとすれば、その人の研究者としての資格を疑ざるをえない。

それはさておき、このような事情に反して、例えば、「待ち合せ行列」の問題ならどんなものでも実験(シミュレート)できるプログラムとか、「模型計画」の問題ならどんなものでもとくことができるプログラムとか、それ自身がひとつのシステムをなしているような一般性のあるプログラムをつくることはいろいろないみで容易ではないし、それらに内蔵される問題点も多い。

さらに、システムプログラミングのひとつであるコンパイラー作成という局面を考えるなら、それは「コンピューター・サイエンス」と称される学問との深いかわりあいをさけることはできないであろう。

この講義ではシステムプログラミングに関連する理論的諸問題の解説を行ない、それを応用してアセンブラー又は適当な一般性のあるプログラムを作成する。

参考すべき文献

数値計算については

山内他編 電子計算機のための数値計算法I, II, III 培風館

コンパイラーのアウトラインは

森口繁一編 ALGÖL入門 日本科学技術連盟(JUSE出版社)

高須 達編 電子計算機のプログラミング 日刊工業新聞社

その他

「計算機プログラム」昭和41年度講義第9, 10, 19, 20講および演習問題15番なども参考になるであろう。

民法 I 非常勤講師 相原 東 孝
(小樽商大短大教授)

民法 II 助教授 中 川 良 延

商法 I 学 長 実 方 正 雄

商法は、資本制企業を対象とする法である。そのうち、商法Iは、商法典中の商法総則および会社法を中心としたものである。講述は、私の理論体系にしたがい、まず、商法の歴史的意義や資本制企業の法律的構造一般の問題を取扱い(商法総則)、ついで、企業形態の法(会社法)ことに会社企業の諸法形態に論及する。この企業形態法については、現代資本主義社会の中核をなす株式会社を中心とし、それとの比較対照において、合名会社、合資会社、有限会社にも触れながら、解り易く説明を進めてゆく計画である。

教科書としては、私の書いた講義案「改訂商法講義」を使用する。この書物は、簡明でやや難解であるから、講義では、平易にかみくだいて説明するつもりである。

商法 II 講 師 斎 藤 武

教科書 鈴木竹雄著 商行為法・保険法・海商法 弘文堂

服部栄三著 手形・小切手法商事法務研究会

講義は教科書に従つて進め、重要な点については判例をとりあげ、商法理論を身近なものと感じられるような仕方で、みなさんと一緒に研究していきたいと思ひます。

国際法

- I 国際社会と国際法
- II 国際社会の構造
 - 1 国際社会の構成
 - 2 国際社会の組織化
- III 国際法関係の諸形態
 - 1 国際関係の機関
 - 2 国際条約
 - 3 国際紛争の解決
- IV 国家の権限

※経済法

教授 桑原輝 6 教職科目

担当者 未定

教育原理

教授 田中昭徳

- I 現代教育改革の世界的動向と「後期中等教育」問題
 - 1 産業構造および人口構造の変化が教育に与えたインパクト
 - 2 教育投資論
 - 3 労働力の質的向上と「後期中等教育」
 - 4 工業先進諸国における教育改革
- II わが国における長期経済計画と文教政策
 - 1 人的能力開発計画——マスとエリート——
 - 2 「能力主義」教育と「後期中等教育」の多様化
- III 近代教育理論とその原則
 - 1 生産労働と科学と学校
 - 2 能力と発達と学習
 - 3 教育の機会均等
- IV 社会発展と教育
- V 教育は誰のためのものなのか

テキスト 菅原誠一著『青年期の教育』（岩波新書）

勝田・中内著『日本の学校』（岩波新書）

商業科教育法

非常勤講師 渡辺羊三
(札幌大学経済学部講師)

教育実習

教授 岡本理一

教育史

教授 田中昭徳

- I ヨーロッパ中世都市の発達と学校および大学の興隆
- II 13～14世紀における封建反動とその教育統制
- III ルネサンスとヒューマニズム教育思想

- IV 宗教改革とその教育に対するインパクト
- V 絶対王制とその教育政策
- VI 17世紀の「錬金術」的教育思想家たち
- VII 資本主義的生産の発達と「慈善学校運動」
- VIII 「市民革命」と教育改革
- IX 産業革命の進展と公教育制度の成立

テキスト 梅根 悟著『西洋教育史』（新・教職教養シリーズ）

誠文堂新光社 昭和38年

教育心理学

非常勤講師
(北海道大学教育学部助教授) 三宅和彦

職業指導

非常勤講師
(北海道教育大学札幌分校助教授) 石井 茂

- I 職業指導の意図
- II 職業指導の発達 —職業指導運動とその背景を中心として—
- III 職業指導の基礎理論
- IV 職業指導の実態
- V 職業指導の今日的課題と方向

英語（上級Ⅰ） 外国人教師 リチャード・ステーリー

内容：講読

テキスト

James P. McCormick編

Patterns in Recent American Literature (北星堂) ¥250.00

英語（上級Ⅱ） 非常勤講師 木曾栄作 (小樽女子短大学長)

英作文の基礎的演習より、漸次高等英作文への段階へと進むよう研究と演習を行なう。

テキスト 矢吹勝二著 『高等自由英作文』
オーンビー著 岩崎民平註『英語の型と正用法』

英語学 I 非常勤講師 岡野 哲 (北海道大学文学部助教授)

テキスト H.C. Wyld The Growth of English (南雲堂) ¥450.00

Ⅲ 研究指導要項

教授 竹内 清

1 研究主題

統計学及びその関連分野の問題。(統計学, 経済統計学, 数理統計学, OR, 計量経済学等)

2 指導要項

- (イ) 全般 真摯な態度で, 学問研究に取り組むように学生を指導する。
- (ロ) 3年次 Hogg and Craig, Introduction to Mathematical Statistics, 1965 をテキストとして使用。問題を解くことを中心として数理統計学に関する学生の実力が向上することを眼目とする。
- (ハ) 4年次 卒論と関連して, 学生各自は個別テーマについて, 研究発表すること。学生相互のディスカッション等を通して卒論作成の指導に主眼を置く。

3 履修要件

数学が好きで, 相応の能力を発揮できる者が望ましい。

4 使用テキスト

3年次のテキストは上記参照。4年次の卒論作成に当っては, 原書あるいは外国の雑誌論文を主として参照するようにする。

教授 藤井 栄一

1 研究主題

理論経済学

2 指導要項

- (イ) 全般 講義と報告による。個別テーマの選択は話しあいによつて決める。
- (ロ) 3年次 講義と報告により, 基本的な分析手法になれることを目的にする。
- (ハ) 4年次 前半は3年次と同じ。後半は個別テーマの報告と討論

3 履修要件

経済学関係の講義を履修済みであることが望ましい。外国語(とくに英語)

の経済学の文献を読めなければならない。

4 使用テキスト

詳細は別に指示するが, かなり多くの図書を必要とする。

5 その他

報告準備のために, 十分な時間的な余裕が必要。

助教授 安孫子 麟

1 研究主題

歴史理論および日本経済史に関する諸研究。

日本経済史と日本経済論との区別は事実上ない。しかし, さしあたりこのゼミでは, 日本資本主義発達史の観点からのアプローチまでに限りたい。

2 指導要項

- (イ) 全般 少数のテキストを精読し, 研究書の読みかたを修得させるとともに, 経済および歴史理論の理解に重点をおく。その上で史(資)料, 統計をどのように理解し利用するかという, 事実分析の方法を考える。
- (ロ) 3年次 本年度はテキストとして栗原百寿著「農業問題入門」2~5章を使用する。このテキストは, 歴史経済理論が中心なので, これをよむなかで各人の興味をもつ課題に関連した具体的分析の報告を併行して行なう。
- (ハ) 4年次 本年度前半は「明治維新論の再検討」を課題として, 主要な学説をとりあげていく。夏以降卒論作製の指導に重点をおく。

3 履修要件

経済史概論および経済学特殊問題を履修したものに限る。

4 使用テキスト

- 3年次 栗原百寿「農業問題入門」有斐閣(ただし絶版のためプリントする)
- 4年次 とくに定めない。

教授 吉武 清彦

1 研究主題

社会政策・工業経済学

2 指導要項

(ロ) 3年次 E.H. Phelps Brown, *The Growth of Industrial Relations* (Macmillan, 1960) を輪読する。本書は20世紀初頭のイギリス労使関係を克明に研究したものである。

(ハ) 4年次 前半では隅谷三喜男「労働経済論」をよみ、後半では卒業論文指導を行なう。

3 履修要件

語学関係科目(第1, 第2外国語)及び経済学概論, 第2学年終了時に於いて履修済みであることを条件とする。

5 その他

無断欠席を3回続けた場合, 教官は除名の権利を有するものとする。

助教授 早見 弘

1 研究主題

財政の経済理論

2 指導要項

(イ) 全般 財政収支の経済効果を分析できるための理論を学習し, その後各自のテーマにしたがって研究報告をくり返して卒論にまとめる。

(ロ) 3年次 今年度は以下をテキストとする。事前に各自に報告担当箇所を割当てておくことは, 当初からはやっていない。

(ハ) 4年次 個別のテーマの報告。

3 履修要件

経済学概論の単位修得のこと。

4 使用テキスト

R. A. Musgrave, *The Theory of Public Finance* (McGraw-Hill, 1959). Reprinted edition あり。

邦訳の教室内持込みは許さない。

5 その他

応用経済学の一部門としての財政学と, 上記の主題からみて, とくに経済

理論(ミクロとマクロの分析)の基礎的知識がなければ, 前進するのはむずかしい。また租税や公債にかんしては, 会計学や金融論の知識があればなおよい。

教授 麻田 四郎

1 研究主題

国際経済, 経済政策, 理論経済学の分野の諸テーマ

2 指導要項

(ロ) 3年次 下記のテキストを使用して原書講読を行ない, 読書力をつける。

(ハ) 4年次 各個別テーマによる研究発表。

3 履修要件

前期2年の間に経済学概論および経済原論の履修を終了すること。

4 使用するテキスト

H. Johneon *The World Economy at the Crossroad*. 1965

5 その他

募集人員……15名

ゼミの決定 英語読解力のテストを行ない, その結果と1年度の経済学概論の成績を合わせて考慮した上で決定する。

教授 岡本 理一

1 研究主題

商業経営の理論的並びに実証的研究

〔内容〕—商業原理, 経営管理, マーケティング, 中小企業論

2 指導要項

(イ) 全般 商業経営の基礎理論をおさめ, 実証的研究にも資するため, 経済理論, 経営管理論をひと通り勉学し, 続いてマーケティング, 販売管理の研究に及ぶ。

(ロ) 3年次 経営管理一般, マーケティング, 販売管理などをそれぞれテキストについて指導する。

(イ) 4年次 各自のテーマにしたがい、卒業論文の完成を期する。

3 履修要件

企業経営、経営管理、マーケティングなどの研究に関心を有すること。3年度生に対して実施するテキストの輪読会によく出席できること。

4 使用テキスト

マーケティングに関する和書または洋書を使用する。

教授 齋藤 要

1 研究主題

商品学特に市場被制約下にある商品の質的側面を、理論的並びに実証的に追求する。

2 指導要項

(イ) 全般 商品の品質即ち自然科学的な属性と他の属性とを、社会科学的な方式で統合するための基本的理論を修得せしめる。

(ロ) 3年次 入門書的なテキストを講読し、基本的知識と応用能力を養う

(ハ) 4年次 個人テーマによる文献講読と研究指導

3 履修要件

原則として、自然科学に関する基礎的知識を有する者。

1年度修了で40単位以上修得した者。

4 使用テキスト

K. Marx : 資本論 第1分冊

L. Abbott : Quality and Competition. (1965)

5 その他

特別の理由なくして欠席しない者。

教授 伊藤 森右衛門

1 研究主題

経営管理と経営政策 — トップ・マネジメントを中心として —

2 指導要項

(イ) 全般 テキストによる講読、レポートとディスカッション事例研究 (実地研修を含む)

(ロ) 3年次

テキスト : Burns & Stalker : The Management of Innovation.

サブテキスト : Labor Economics and Industrial Relations. (これは全員に貸与する)

(ハ) 4年次

テキスト : Ewig : managerial Mind

サブテキスト : 既に貸与しているもの。

3 履修要件

2年次「経営経済学」を履修済みのこと。

講師 篠崎 恒夫

1 研究主題

工業経営における経済管理及び組織問題。

2 指導要項

(イ) 全般 経営経済学の基本理論の学習を通じて、広く現代工業経営の諸問題を追求・批判する。

(ロ) 3年次

(1) 経営学基本概念の体系的習得。(前半)

(2) 外国文献講読及び春休み・夏休みにおける英書宿題。

(3) 特に42年度はブロックゼミに備えて、事業部制形成の組織的展開を共同研究する。

(ハ) 4年次 個別テーマによる卒論作成指導に当たる。

3 使用テキスト

Haynes & Massie : Management (P514, 丸善 ¥980.00)

4 その他

(1) 本人の志望による研究指導であるから、ゼミに対する厳正な態度と情熱を要求する。

(2) 真理追求を共同で行なうから、協調性に富むこと。

助教授 久野 光 朗

1 研究主題

会計学

2 指導要項

(イ) 全般 とくに会計原則構造論, 貨幣価値変動会計, 会計史, 経営分析
原価会計などの分野について基本的知識を与え, かつ応用能力を養う。

(ロ) 3年次「企業会計原則」の研究と基本的な外書講読を中心にして基礎
理論を学習させる。

S 42に使用する外国語文献は下記のものである。

George O. May, *Financial Accounting* (N.Y., The Macmillan
Company, 1943)

(ハ) 4年次 ——卒業論文の指導(各人の発表をもとにして討論を行な
う)。文献は必要に応じて紹介する。

3 履修要件

S 42年度中に一定の水準以上で, 簿記学の単位を取得できる者。

4 使用テキスト

3年生 George O. May, : *Financial Accounting* (The Macmillan
Company, 1943)

4年生 必要に応じて文献を紹介する。

5 その他

バイタリテイに富んでおり, 協調性のある人——熱心にゼミにさん加し,
ゼミをもちたてていく人を望む。なお, ゼミの内容に関しては説明会で明
かにいたしますが, 事前に小生のゼミナリストなどから話を聞いておく
ようにして下さい。

決定の方法——面接による。ただし「志望理由」を面接日の前日までに
学生部教務係へ提出すること。(200字詰原稿用紙で10枚以内)

教授 武 隈 良 一

1 研究主題

数理統計学または経営数学に関するもの。

3 履修要件

語学関係科目(第1, 第2外国語)および数学を第2学年終了時において
履修済みであること。

4 使用テキスト

本人の希望をきいて決定する。

教授 石 河 英 夫

1 研究主題

会計学(財務会計・管理会計・商法会計・原価計算・監査論のうちいづれ
かを各自選択)の研究。

2 指導要項

(イ) 全般

(1) 会計学の輪郭の把握と基礎理論の理解のための指導

(2) 外国文献(英文)の講読

(3) 研究報告ならびに卒業論文作成の指導

(4) 学問研究を媒介としての個人的接しよく

(ロ) 3年次 この(1)のため, 前半において会計文献(和書)を輪読する。
後半には1の研究主題の領域中より各自テーマを自由選択せしめ, 研究
の指導を報告をさせる。

(ハ) 4年次 (ロ)に引続いて各自の研究の指導と報告。外国文献の講読

3 履修要件

みだりにゼミナールの時間欠席するものは申込まざること。

4 使用テキスト

太田哲三「新稿会計学」(千倉書房)

外国文献については学生と合議の上決定する。(価格, 能力などの点から)

助教授 中 川 良 延

1 研究主題

日本の家族制度

2 指導要項

- (イ) 主題を扱っている文献・資料を読みながら、明治以後の日本において家族制度がどんな役割を担わされ、あるいは現実にはたしてきたかを明らかにして行きたいと思う。
- (ロ) 主として文献・資料を読む。
- (ハ) 卒論のテーマをきめ、各人の主体的な研究を中心として報告、討論を行なう。

3 履修要件

原則として「法学」の履修者または履修中の者に限る。

4 使用テキスト

川島武宣「イデオロギーとしての家族制度」

玉城 肇「近代日本における家族構造」

教授 桑原輝路

1 研究主題

- (1) 第一次産品に関する国際協定
- (2) アジアの国際機構
- (3) その他

3 履修要件

上記の研究主題とくに(1)(2)のいずれかについて関心をもつもの。

管理科学研究指導Ⅰ（経済）

助教授 西川 欽也

◎3年次開設の管理科学Ⅰ（経済）から継続するもので、この研究指導を受けるものは、上記管理科学Ⅰをあわせて12単位の研究指導を履修するものとしての扱いを受ける。

◎この研究指導は4年次学生を対象とするものであるから、卒業論文の指導に重点をおく。したがって履修を希望する学生は新学期の開講時までには指導教官と相談して、各自の研究テーマを決めておくことが望ましい。

◎研究テーマは履修学生が自らの関心のあるところにしたがって自主的に決

定するたてまえであるが、必ずその過程で指導教官と相談して、その承認を受けなければならない。

◎研究テーマの選択の範囲は、経済分析（予測、政策決定、計画などの応用面を含む）への管理科学の応用ということで、かなり広い。その他必ずしも経済分析との関連を含まなくても統計理論など管理科学の関連領域からのテーマの選択は認められる場合がある。

◎従来の履修学生の研究テーマは

- 1 線形経済学、成長理論など数学的な経済理論の研究。
- 2 Gravity モデル、地域連関表などを利用した地域分析、地域開発の研究。
- 3 計量経済学的マクロ・モデルによる経済予測、政策決定およびこれらへの産業連関分析の応用の研究（シミュレーションを含む）
- 4 ゲームの理論・統計的決定理論（主として数学理論として）の研究に大別される。

◎管理科学研究指導を履修できるのは、管理科学科（または管理科学コース）所属学生のみであり、管理科学科の所定の科目を3年次までに必ず履修しておかなければならない。

管理科学研究指導Ⅲ

教授 古瀬 大六

- (1) 3年次の管理科学Ⅲ（販売）に接続し、あわせて12単位を与える。
- (2) 4月から直ちに卒業論文作成のための研究を開始する。
- (3) 研究テーマは「図書館業務に関するOR」とし、本学図書館業務の実際のデータに各種のOR手法を適用し、より合理的な管理方式を考察し、その効果をテストすることをその内容とする。2, 3年次の応用数学及びプログラミングに関する知識を十分に活用するように配慮する。論文はグループ執筆であつても、個人執筆であつても、何れでもよい。
- (4) 採用条件は管理科学指導Ⅰに同じ。